

2021年3月期 決算説明資料

株式会社 千ノ一
(東証1部 : 6850)

1. 2021年3月期決算
 - 1) 決算ハイライト
 - 2) 業績サマリー
 - 3) 営業利益増減分析
 - 4) 四半期別連結売上高の推移
 - 5) セグメント別の業績動向
 - 6) 連結貸借対照表
 - 7) 連結キャッシュ・フローの推移
 - 8) 海外売上高の推移
2. 設備投資・減価償却費の推移
3. 株主還元
4. トピックス
5. FY2020の業績予想の達成状況
6. FY2021の業績予想

1. 2021年3月期決算

1) 決算ハイライト

2021年3月期 連結業績

受注高 >> 20,553百万円 前年同期比 0.4%減 

売上高 >> 21,080百万円 前年同期比 2.4%増 

- ・ 売上高：コロナ禍の影響により国内・海外とも厳しい状況となったが、明陽電機(株)の連結子会社化により増加
- ・ 3Q以降は一部の主要顧客において、設備投資が活発化

<利益面>

営業利益 >> 1,136百万円 前年同期比 10.7%増 

経常利益 >> 1,283百万円 前年同期比 23.7%減 

当期純利益 (親会社株主に帰属) >> 1,289百万円 前年同期比 5.9%増 

- ・ 営業利益：経費の低減により営業利益率が改善し、M & A効果も相俟って2桁増加を確保
- ・ 明陽電機(株)の連結子会社化に伴い特別利益（負ののれん発生益557百万円）を計上

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比
受注高	20,628	20,553	▲ 75	▲0.4%

	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比
売上高	20,582	21,080	498	2.4%
売上総利益	6,354	6,363	9	0.1%
<利益率>	(30.9%)	(30.2%)	(▲0.7p)	
営業利益	1,026	1,136	109	10.7%
<利益率>	(5.0%)	(5.4%)	(0.4p)	
経常利益	1,683	1,283	▲ 399	▲23.7%
<利益率>	(8.2%)	(6.1%)	(▲2.1p)	
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,218	1,289	71	5.9%
<利益率>	(5.9%)	(6.1%)	(0.2p)	

2) 業績サマリー (2)

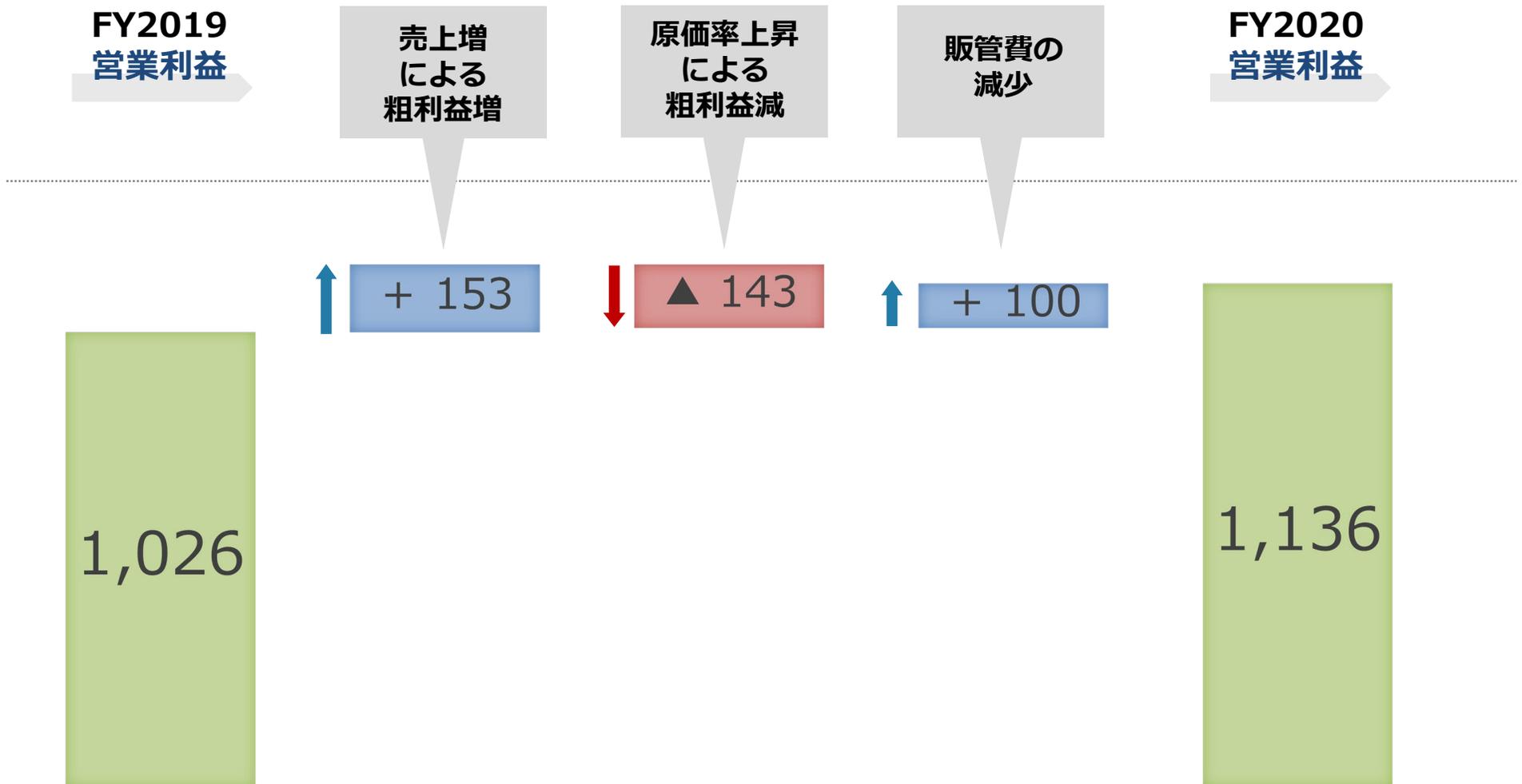
◇セグメント別業績

(百万円)

	受注高				売上高				営業利益			
	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比
計測制御機器	7,213	6,705	▲ 508	▲7.1%	7,677	6,923	▲ 753	▲9.8%	1,153	888	▲ 265	▲23.0%
計装システム	8,225	6,662	▲ 1,563	▲19.0%	7,674	6,752	▲ 922	▲12.0%	648	592	▲ 56	▲8.7%
センサ	4,519	6,540	2,020	44.7%	4,352	6,560	2,208	50.7%	652	1,138	485	74.4%
その他	669	645	▲ 24	▲3.6%	877	844	▲ 33	▲3.8%	209	152	▲ 56	▲27.1%
全社費用									▲ 1,638	▲ 1,635	2	—
合計	20,628	20,553	▲ 75	▲0.4%	20,582	21,080	498	2.4%	1,026	1,136	109	10.7%

3) 営業利益増減分析

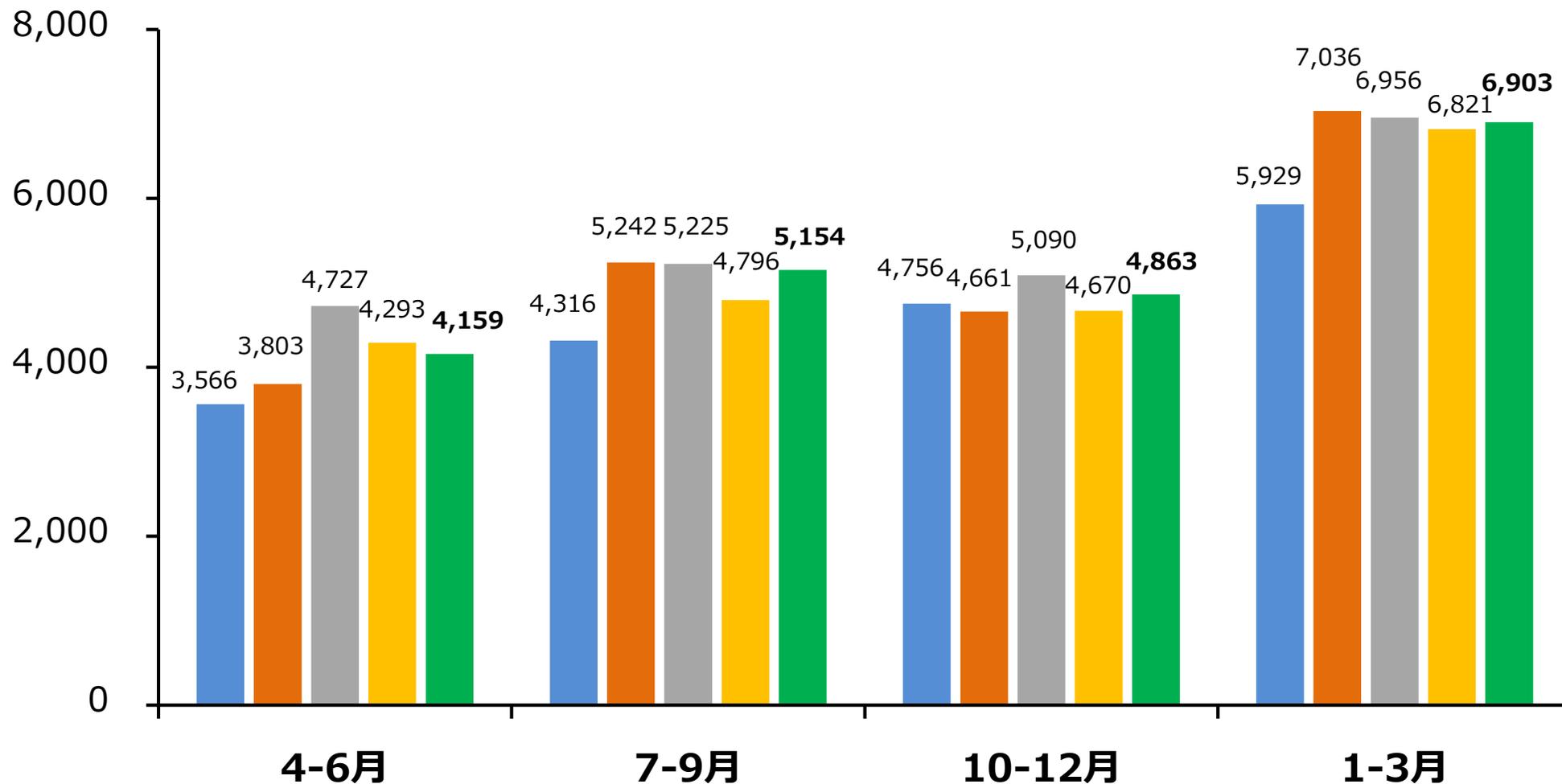
(百万円)



4) 売上高の推移

(百万円)

FY2016 FY2017 FY2018 FY2019 FY2020



5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

損益状況

売上高

6,923百万円 前年同期比 9.8%減



セグメント利益

888百万円 前年同期比 23.0%減

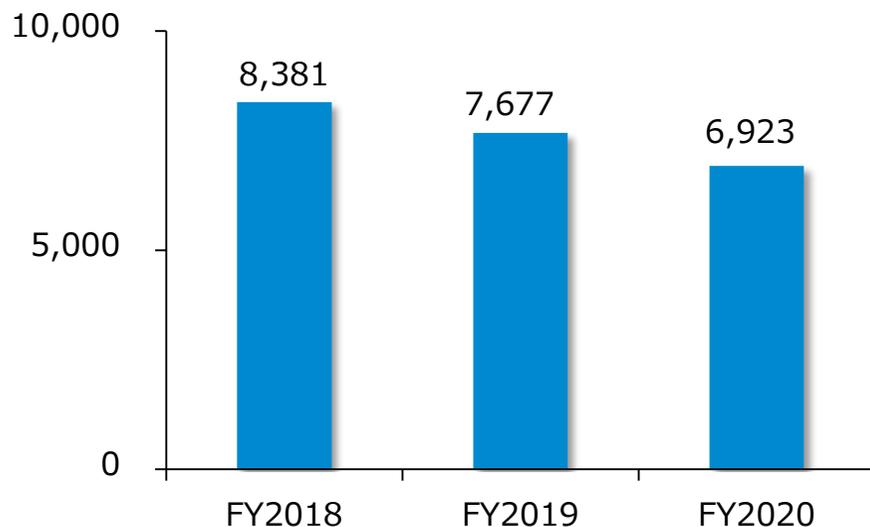


製品別状況

- 主要顧客向けの記録計・調節計・サイリスタレギュレータの売上は、いずれも低迷
- 民生用機器は、体表面温度チェッカ等の需要増に対応し堅調

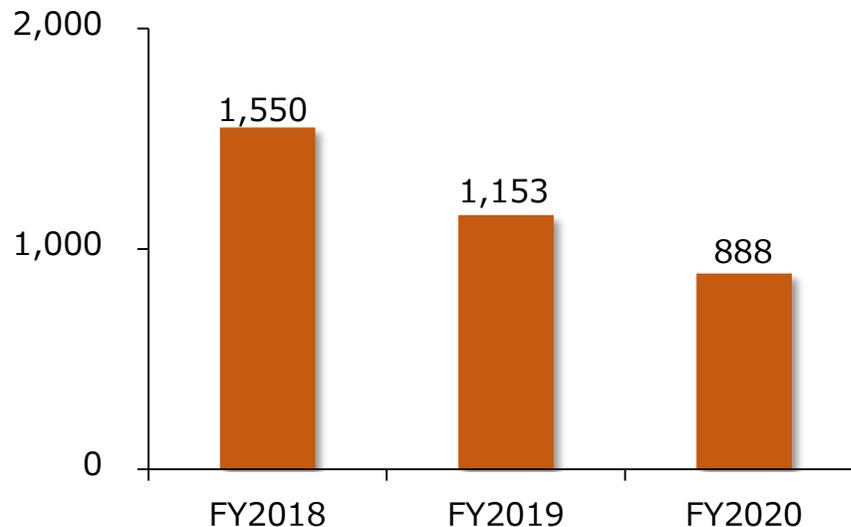
<売上高>

(百万円)



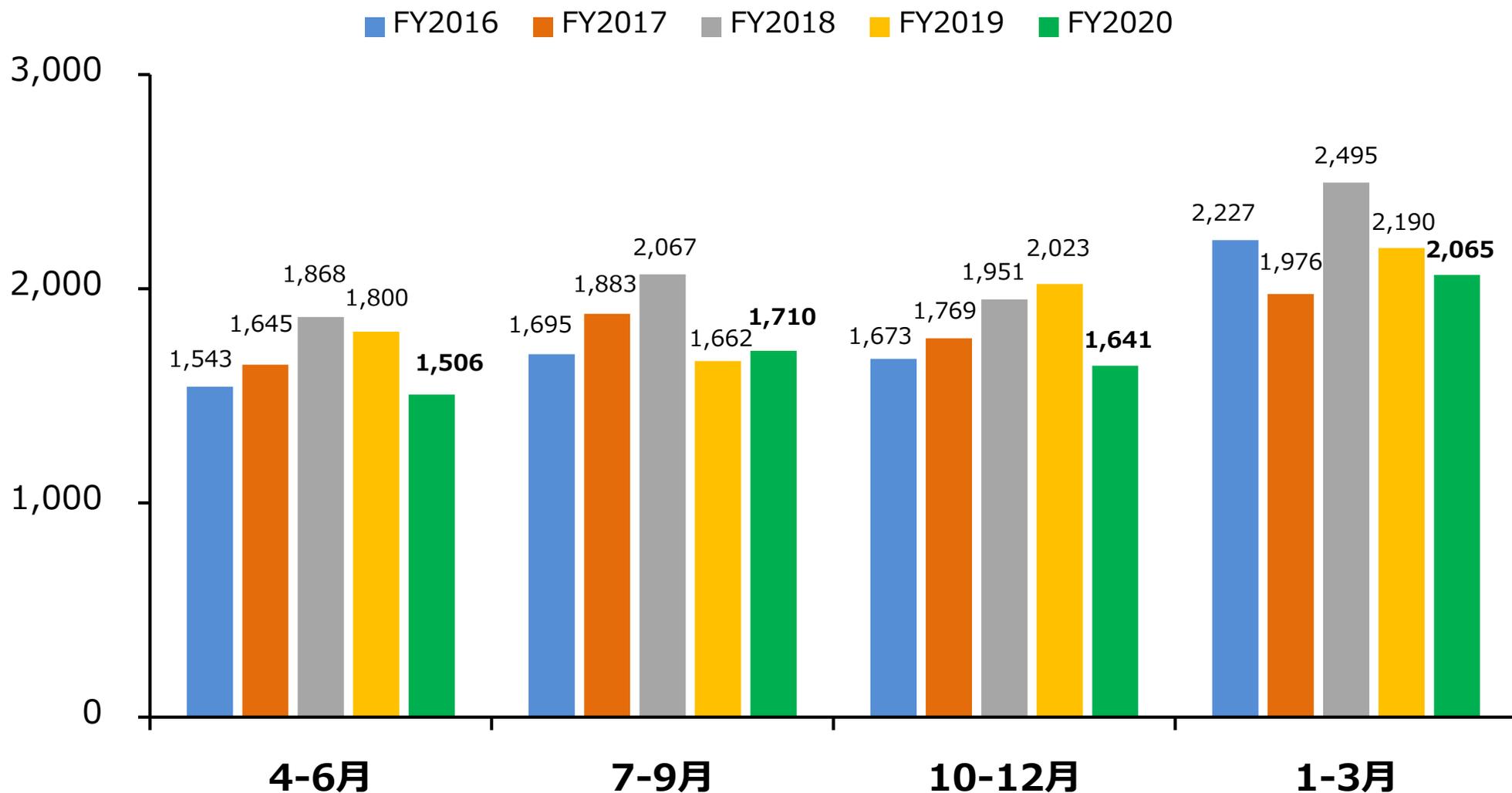
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移 ① 計測制御機器

(百万円)



5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

損益状況

売上高



6,752百万円 前年同期比 12.0%減



セグメント利益



592百万円 前年同期比 8.7%減

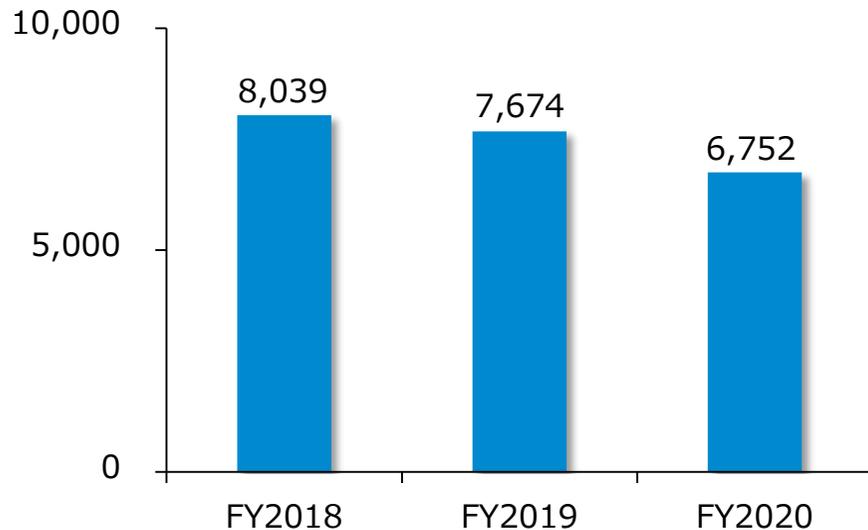


製品別状況

- 電子部品関連の製造装置向け等の売上は、3Q以降需要が回復
- 燃料電池評価試験装置・コンプレッサ評価試験装置の売上は低調
- 医薬品等の温湿度管理システムは、需要の拡大が継続し、売上は前期比で大幅に増加

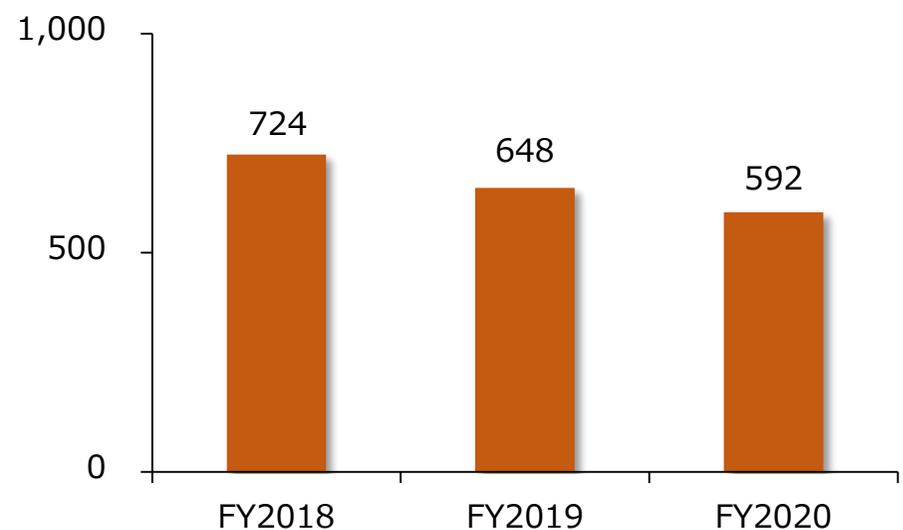
<売上高>

(百万円)



<セグメント利益>

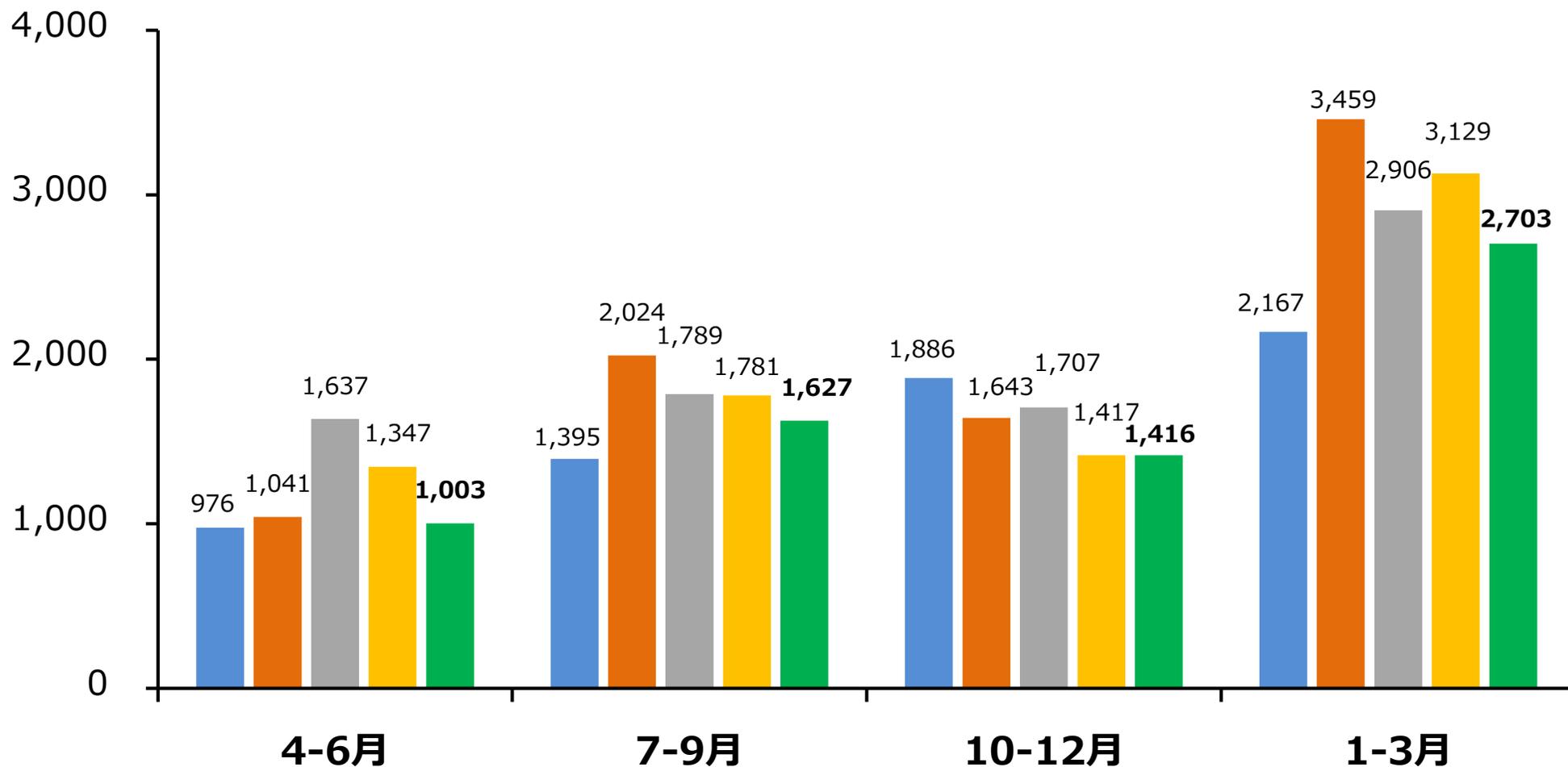
(百万円)



5) 売上高推移 ② 計装システム

(百万円)

FY2016 FY2017 FY2018 FY2019 FY2020



5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

損益状況

売上高



6,560百万円 前年同期比 50.7%増



セグメント利益



1,138百万円 前年同期比 74.4%増

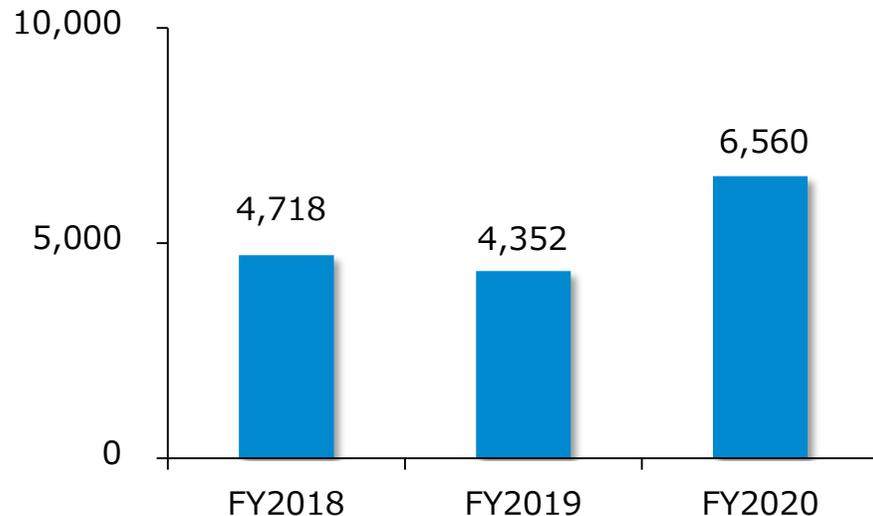


製品別状況

- 2020年4月から連結子会社化した明陽電機の業績が加わったことにより大きく進展
- 放射温度計・温度センサは回復基調にあり、主に半導体製造装置向け（海外）が好調
- 体表面温度発熱監視装置は、需要増に対応し堅調に推移

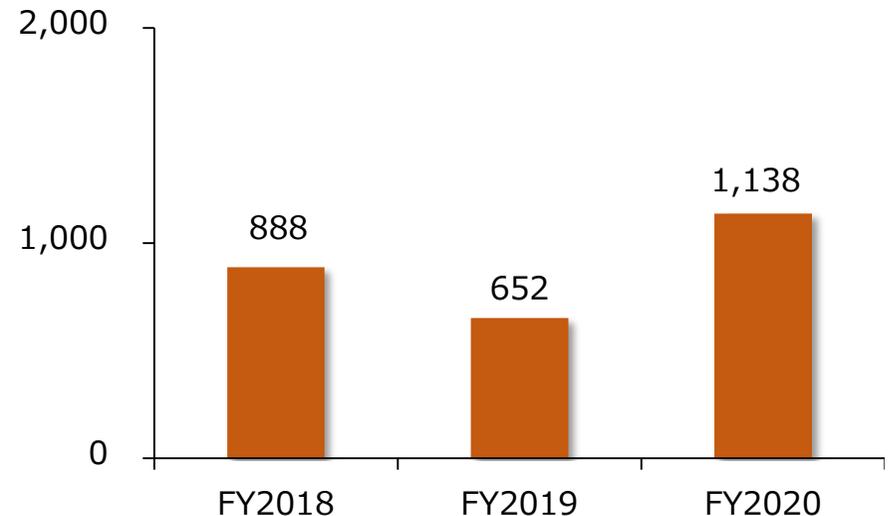
<売上高>

(百万円)



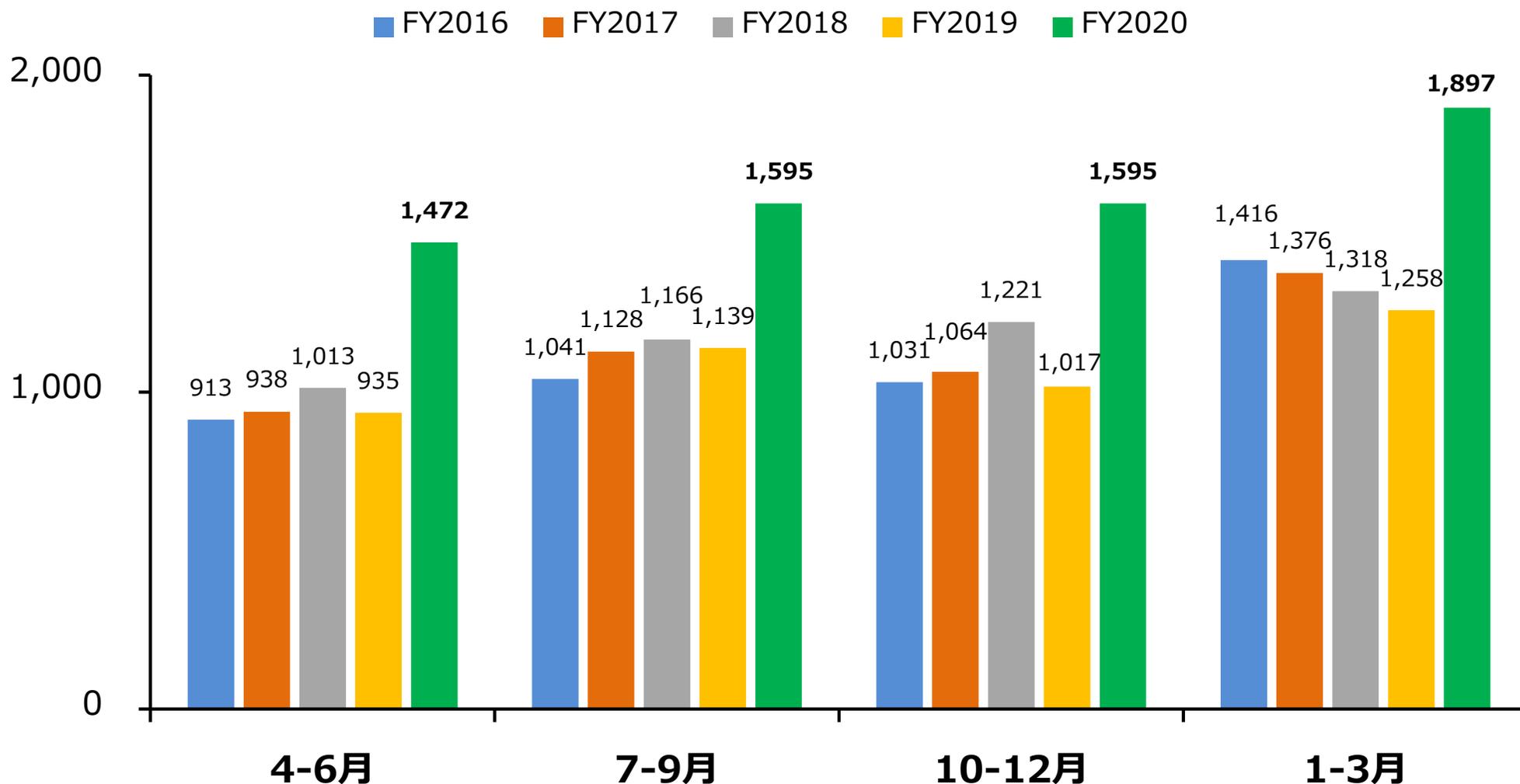
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移 ③ センサ

(百万円)



6) 連結貸借対照表

資産、負債及び純資産は、明陽電機株式会社の子会社化を主な要因として増加

- 資産 現預金、売上債権及び棚卸資産の増加等により、前期末比3,690百万円の増加
- 負債 流動負債、固定負債ともに増加し、前期末比507百万円の増加
- 純資産 前期末比3,183百万円の増加

(百万円)

科目	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動資産	17,421	20,299	2,877
現預金	4,650	6,991	2,340
売上債権	7,327	7,548	220
棚卸資産	4,992	5,526	534
その他	450	231	▲ 219
固定資産	9,286	10,099	813
有形固定資産	4,757	5,578	821
無形固定資産	327	398	70
投資その他の資産	4,200	4,122	▲ 78
資産合計	26,708	30,398	3,690

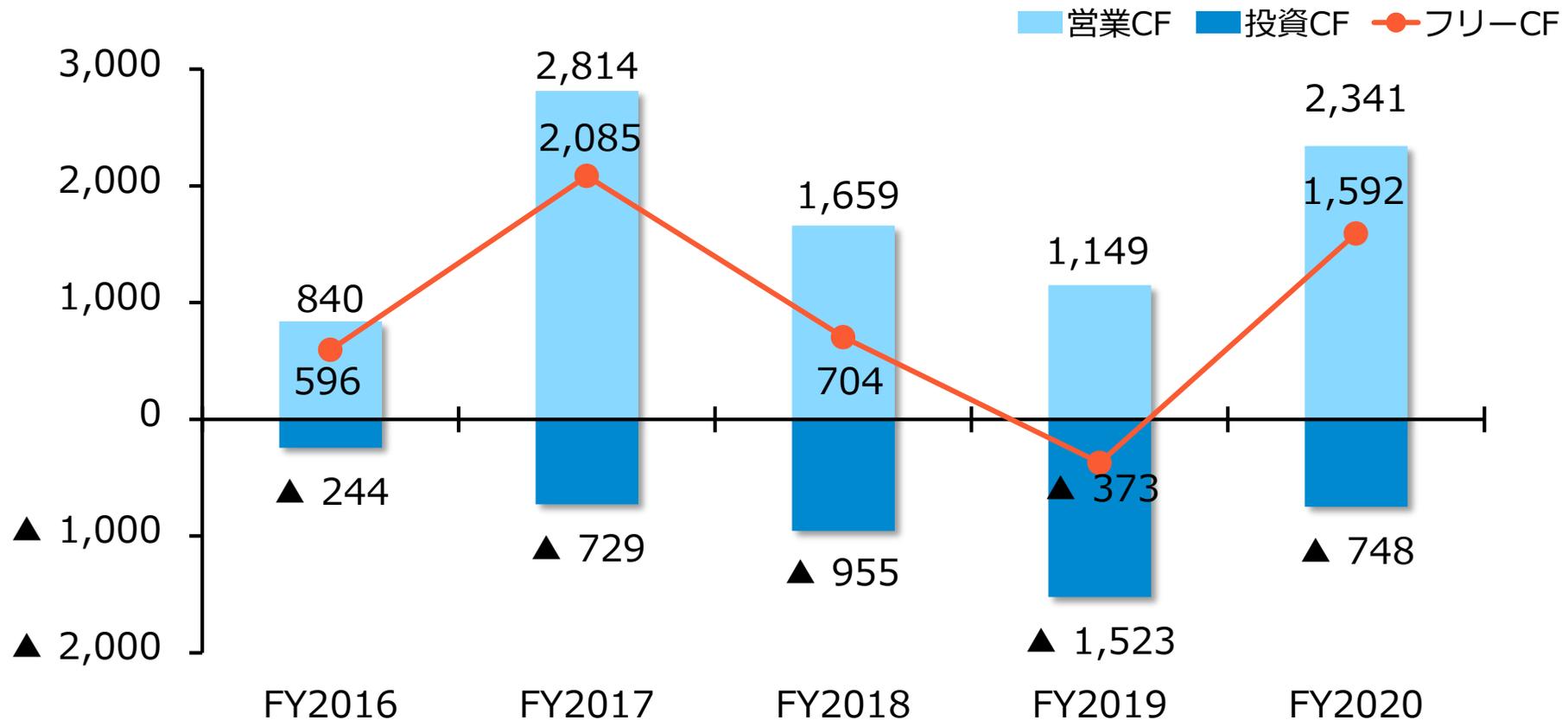
科目	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動負債	7,063	7,274	211
仕入債務	3,850	3,611	▲ 239
短期借入金	1,574	1,594	20
その他	1,638	2,069	431
固定負債	3,326	3,621	295
長期借入金	1,260	995	▲ 264
その他	2,066	2,626	559
純資産	16,318	19,502	3,183
株主資本	15,500	16,398	897
その他の包括利益累計額	▲ 123	240	364
非支配株主持分	941	2,863	1,921
負債純資産合計	26,708	30,398	3,690

自己資本比率：2021年3月末 54.7%、2020年3月末 57.6%

7) 連結キャッシュ・フローの推移

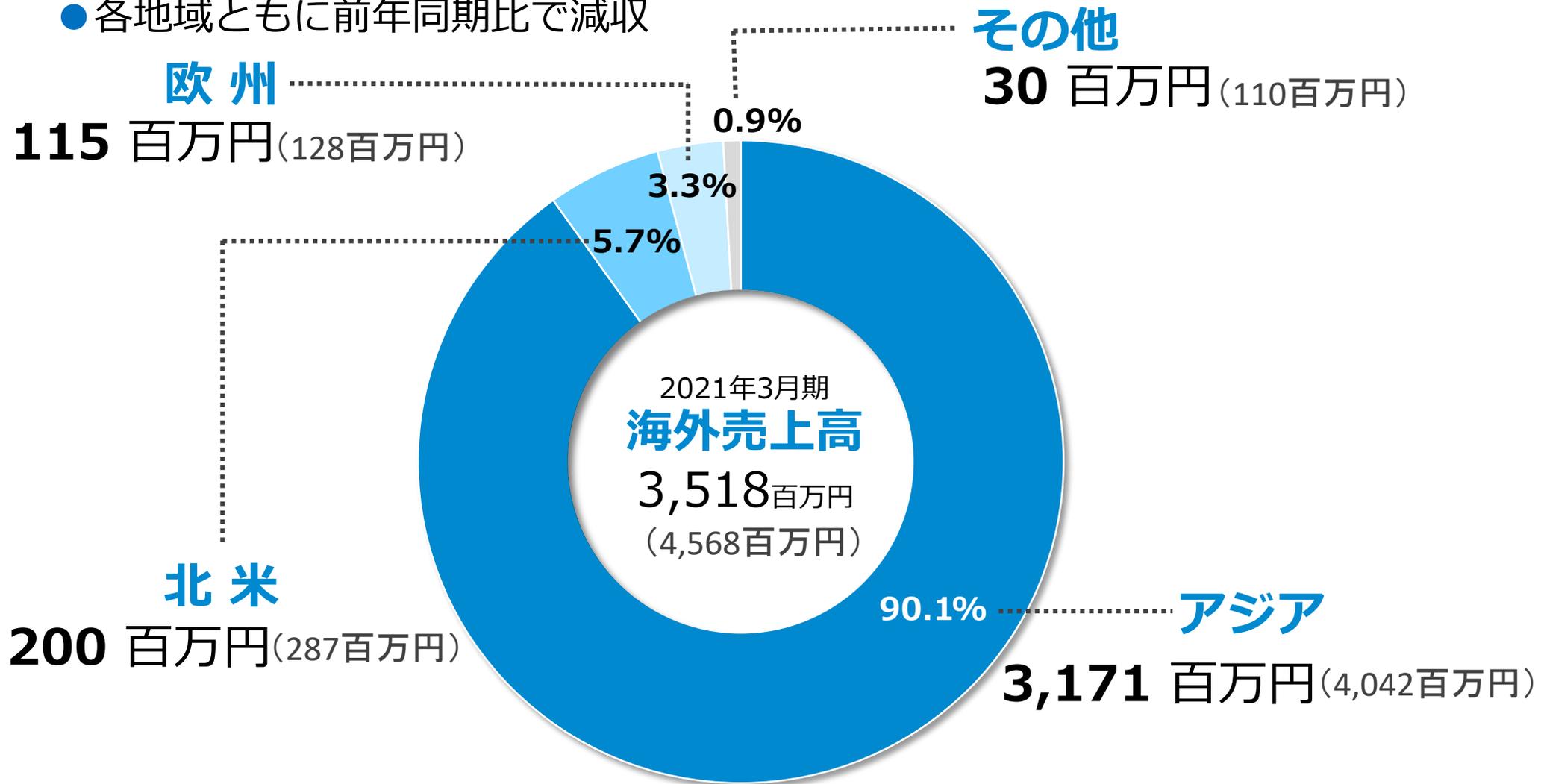
<営業CF/投資CF/フリーCF>

- フリーCFは前期を除きプラスで推移。
- 当期の投資CFは、▲7.5億円。明陽電機の子会社化による収入10.8億円（連結時の明陽電機保有の現預金と株式追加取得額の差額）を含む。



8) 海外売上高 (地域別)

- 各地域ともに前年同期比で減収



()内は前年同期

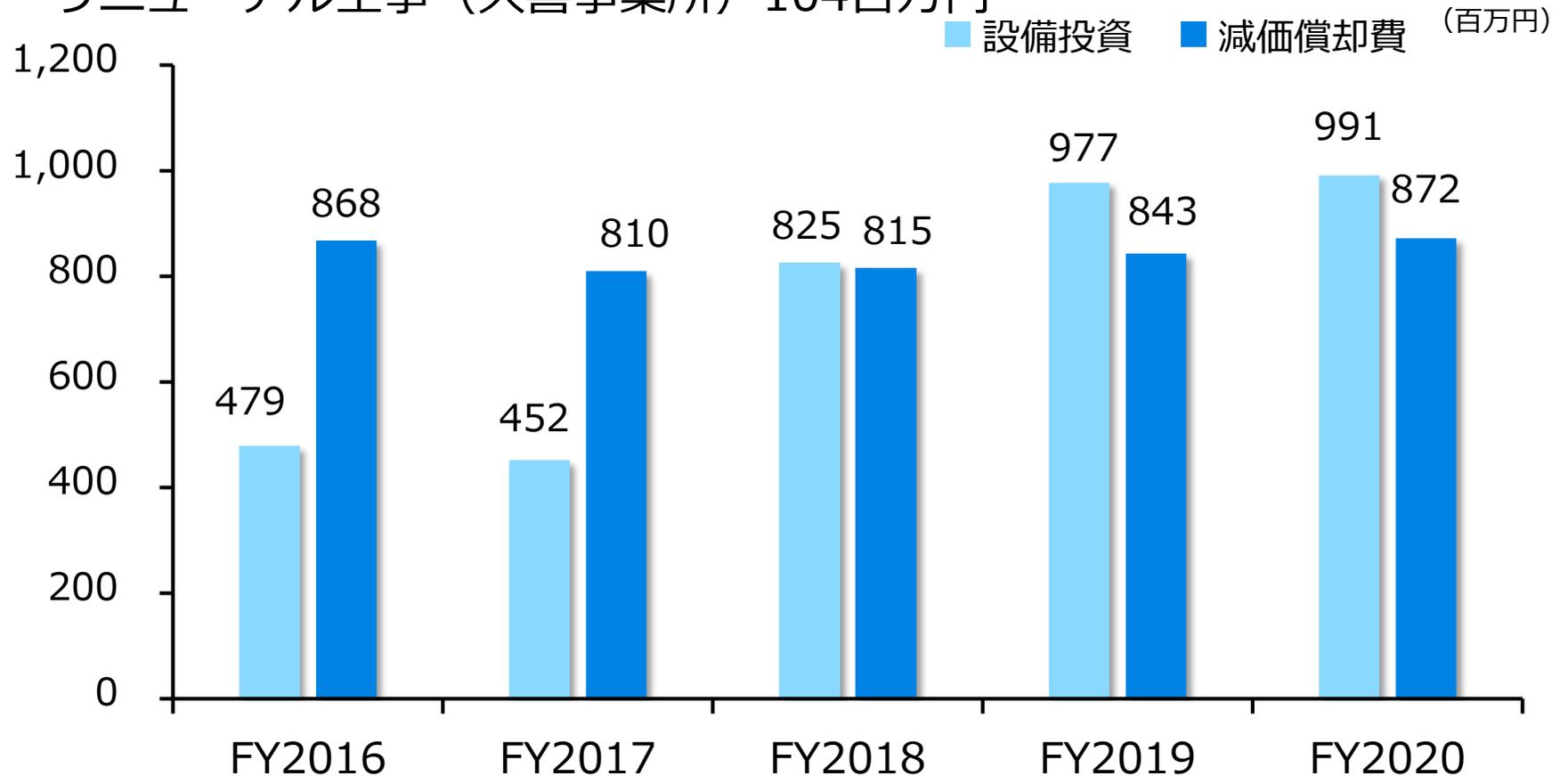
2.設備投資・減価償却費の推移

設備投資・減価償却費の推移（連結）

● 当期の設備投資は991百万円

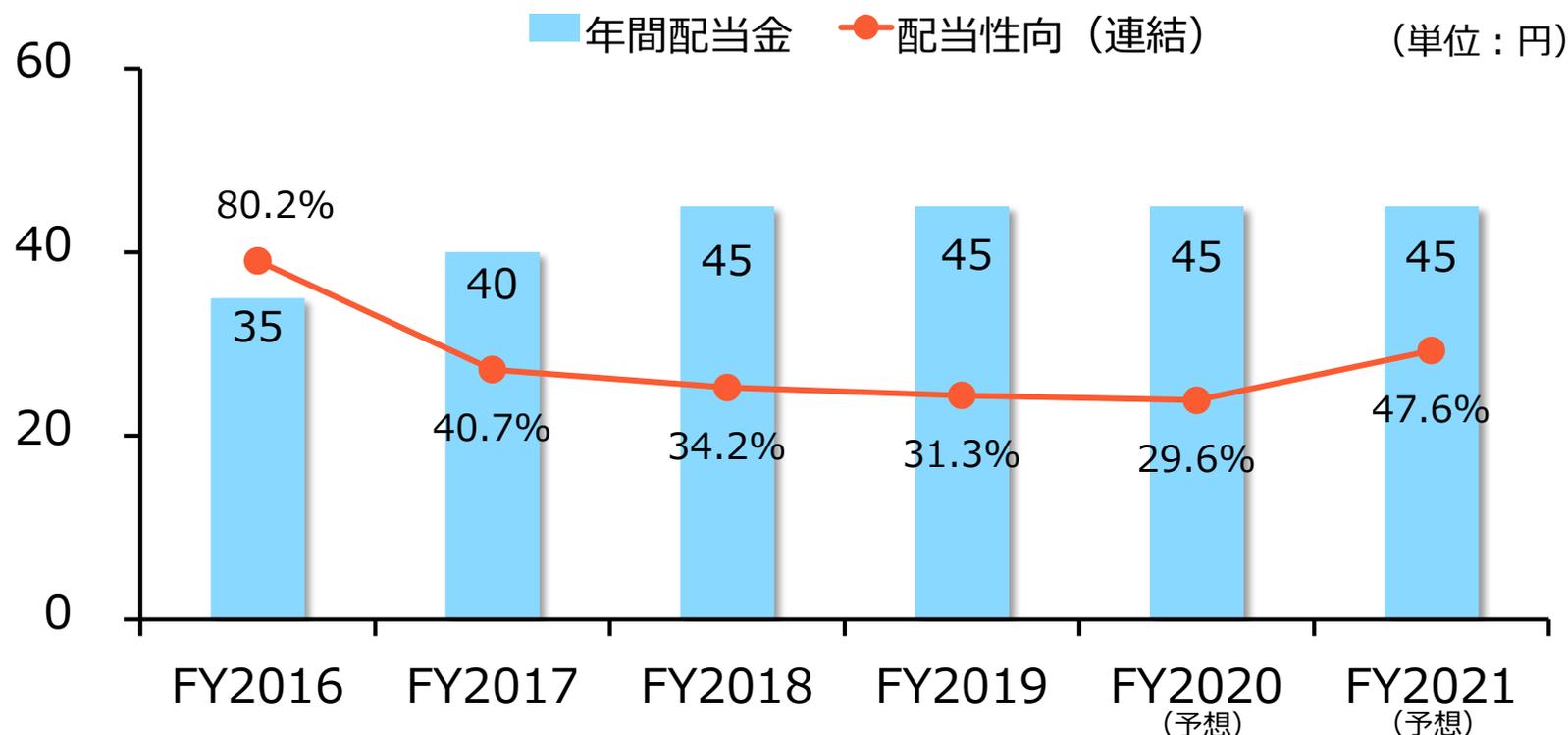
＜主な設備投資＞

- ・ 計装棟の新築（藤岡事業所） 305百万円
- ・ 新製品の製造設備（山形事業所） 141百万円
- ・ リニューアル工事（久喜事業所） 104百万円



3. 株主還元

- FY2020の1株当たり年間配当金（予想）は45円としております。
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円実施。
（2017年7月には、自己株式の消却を300,000株実施）
- 安定配当を継続しつつ、内部留保資金を研究開発活動や新技術・新商品開発投資及び新規事業等、将来の企業価値を高めるための投資資金として有効活用することにより、1株当たり利益とROEの向上に努めてまいります。



4. トピックス

➤ 明陽電機株式会社の子会社化

当社は2020年4月に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、当社の子会社としました。同社との事業連携により、ICT化が進む船舶用市場へ当社計測制御機器・センサ全般の拡販を見込むとともに、同社が培ってきた高耐震・高温耐久性の技術や高信頼性を活かし、陸上の産業分野への展開を目指します。

<明陽電機の概要>

設立年月	1948年5月
所在地	静岡県静岡市清水区七ツ新屋485
事業内容	船舶エンジン用温度センサ他、 各種船舶搭載機器専門メーカー

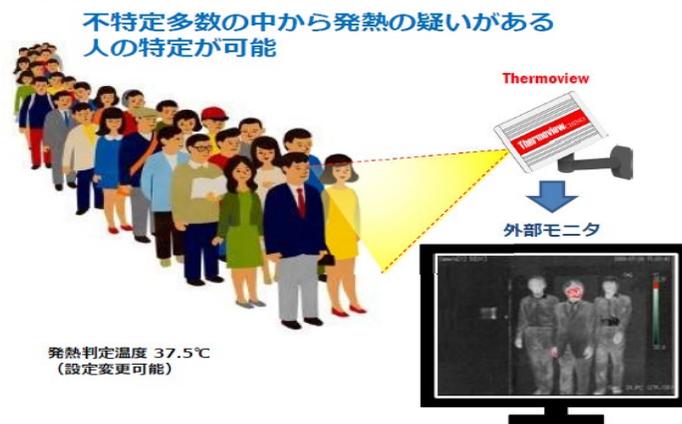


2) ESGの取り組み事例

▶▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止への貢献

当社製品が、発熱者の判定・発見に役立っています。

高精度と堅牢性を実現した体表面温度監視専用モデル



<CPA-L25TV>



ユニット形 体表面温度チェッカ サーマビクス

TP-Useries

特長

- 3秒ですばやく体表面温度を測定
- スタンバイ、OK、NGランプを確認する
簡単操作でセルフチェックが可能
- ふれずに測定できるので衛生的
- 単体で運用が可能

<TP-U>

測定環境や目的に合わせて、大型の公共施設から小人数を
対象とした場所まで幅広く体表面温度測定に対応

5 .FY2020の業績予想の達成状況

FY2020の業績予想の達成状況

- 売上高につきましては、3Q以降、一部の主要顧客において設備投資が活発化する動きがみられ、当該市場の開拓に注力した結果、前回予想を上回りました。
- 営業利益につきましても、売上高が業績予想を上回ったことに加え、不急経費の削減徹底および4Qの原価率改善により、業績予想を上回りました。

(百万円)

	FY2020 実績	FY2020 業績予想 (2020年11月発表)	実績 差異	実績 増減比
売上高	21,080	20,200	880	4.4%
営業利益	1,136	880	256	29.1%
経常利益	1,283	950	333	35.2%
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,289	990	299	30.3%

6.FY2021の業績予想

FY2021の業績予想

- 売上高223億円（前期比5.8%）、営業利益12億円（同5.6%）の予想としております。
- 今後に向け、社会・企業のデジタルトランスフォーメーション等で成長が見込まれる半導体・電子部品関連向けや、生産の回復が期待される自動車関連の生産設備向け等を中心に注力してまいります。

（百万円）

	FY2021 業績予想 (2021年5月発表)	FY2020 実績	実績 差異	実績 増減比
売上高	22,300	21,080	1,219	5.8%
営業利益	1,200	1,136	63	5.6%
経常利益	1,300	1,283	16	1.2%
当期純利益 (親会社株主に帰属)	800	1,289	▲489	▲38.0%

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO